

「えべつ市民健康づくりプラン21（第2次）後期行動計画、生活習慣病予防に向けた野菜摂取アクションプラン、江別市自殺対策計画（案）」に対する市民意見募集結果と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1) 募集期間 平成30年12月3日（月）～平成31年1月4日（金）まで
- (2) 計画（案）配置場所 保健センター、本庁舎情報公開コーナー、大麻出張所、水道庁舎、情報図書館、市民会館、中央公民館・コミュニティセンター、野幌公民館、大麻公民館、鉄南地区証明交付窓口、豊幌地区センター、計11か所
- (3) 提出いただいた意見
 提出者数： 1 人
 意見数： 2 件

2 「えべつ市民健康づくりプラン21（第2次）後期行動計画、生活習慣病予防に向けた野菜摂取アクションプラン、江別市自殺対策計画（案）」に対する市民意見募集結果と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映したもの
B	案に意見の趣旨がすでに盛り込まれていると考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	その他の意見

(2) ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	江別には野菜の直売所が多く存在します。江別市は大消費地ですから、露地野菜をはじめ多彩な品目の野菜が生産されています。こうした野菜の生産地としても名高い江別市においては、地物野菜をアピールする場として、「まるごと江別&農業まつり」等がありますから、こうした企画を知名度の高いものとするために、野菜づくりと、その摂取にともなう健康づくりを市のホームページや広報などで、つよく全面的にアピールしてゆくことが求められます。	野菜摂取の推進にあたりましては、平成30年からは、野菜直売所において啓発活動を行い、また、直売所PRと野菜摂取啓発を同一記事として市広報で特集掲載するなど取り組んできたところです。 プランにおいても、野菜直売所と連携したPRやイベント等における啓発などについて盛り込んでおりますが、市ホームページや市広報などを通じ、より一層周知してまいります。	B

2	<p>自殺の原因として上位に挙げられるのが、経済的貧困です。心理的・精神的なことが原因の自殺であれば、市が相談員の増員をはかるなどして予防することは可能です。場合によっては、精神科医・心療内科医の助力もともなって、自治体として一丸となって、自殺対策に取り組んでいく必要があると思います。自殺の要因に対してすぐに動ける自治体であってほしいです。</p>	<p>江別市自殺対策計画（案）の、「5 江別市自殺対策計画における取組と施策体系」基本施策の中で、「様々な相談機関が課題や現状を共有し、相談者の個人情報に配慮した上で情報共有と有機的な連携を図り、地域におけるネットワークを強化」することを主な取組の一つとして掲げています。</p> <p>自殺に至る要因は、経済的・心理的・精神的など様々であることから、地域、社会全体で取り組んでいく必要があります。</p> <p>さらに、「自殺対策を支える人材育成の強化」として、「市職員自らがゲートキーパーとなれるよう、市職員へのゲートキーパー養成研修を実施」することとしております。</p> <p>いただいたご意見を参考に「命の門番」とも言われるゲートキーパーの養成を一層進めることなどにより、当市全体として自殺対策に取り組んでまいります。</p>	B
---	---	--	---